



※今回は予算に対するの討論です

反対

賛成

令和3年度那須町一般会計予算

小野曜子 議員

コロナ検査体制の拡充、家庭内感染をさせないための独自の保護施設が必要だが盛り込まれていない。友愛の森の再整備計画は大規模で、町民の理解が得られない。町長の公約「学校給食の段階的完全無償化」は12.5%の補助に留まり不十分である。

木村秀一 議員

コロナ禍での経済低迷、固定資産税評価額の下落などで令和2年度比で5%減だが、アフターコロナを見据えた持続可能なまちづくりを基本に、施策や事業の精査を行い、財政の健全化に配慮している。

令和3年度那須町国民健康保険特別会計予算

小野曜子 議員

低所得世帯が圧倒的に多い国保世帯にコロナ禍こそ保険税軽減が求められる。国は令和3年度から未就学児の均等割半額軽減を始める。町の基金が増え、財源はあり、今こそそれを使うべき。かねてから求めてきた町独自の均等割りの軽減策が盛り込まれていない。

齋藤則人 議員

在宅医療の推進、①医療介護総合確保推進法も成立しており、②地域包括支援ケアシステムの構築など、医療保険制度の根幹を成すものであり、町民の医療、健康増進に必要な予算である。

令和3年度那須町後期高齢者医療特別会計

小野曜子 議員

医療費が1割から2割負担になる人が町で加入者の14%、660人に上る。今ですら後期高齢者は低所得で、受診控えが社会問題になっている。負担増の路線は止めなくてはならない。後期高齢者医療保険制度そのものに反対である。

平山輝貴 議員

広域連合との連携における町の役割である保険料徴収、窓口業務に適正な予算計上がなされている。また高齢者の歯科健康に関する事業を盛り込むなど、本医療制度の適正な運営及び後期高齢者の医療確保、福祉向上を図る予算である。

令和3年度那須町介護保険特別会計予算

小野曜子 議員

保険料基準月額5,800円で、今回は値上げせずに据え置きになったが負担は重すぎる。基金は約3億3,500万円あり、取り崩して引き下げを行うべき。新年度予算における保険料の額が現状維持ではコロナの影響下で、支援として不足している。

田村浪行 議員

介護保険制度は、住み慣れた地域で、安心して老後を暮らせる社会を目指して創設された。老いを巡る様々な実態が表面化し、実効性のある政策が打ち出されている。健康寿命も認識され、予防を重視した予算となっている。

令和3年度那須町観光事業特別会計

小野曜子 議員

ファミリースキー場は指定管理事業ではあるが、町の財政の問題である。経営の抜本的な見直しが求められ、その方策が見えないままの予算には反対せざるを得ない。指定管理制度への移行にも反対した経緯もある。

高橋 輝 議員

那須高原ファミリースキー場は、ファミリー・初級者向けスキー場として来場者からの評価が高く、町の観光施設として十分に役割を果たしている。利用者からの評価が高いということは、不備なく運営されていると考えられる。

令和3年度那須町水道事業会計予算

小野曜子 議員

令和2年度はコロナの影響で負担軽減を図るため水道料金を引き下げる自治体が数多く、町でも事業者などへ料金の軽減策が取られた。しかし水道料金は独立採算の立場で決められ、値上げにつながる恐れもある。

関 幸夫 議員

給水収益での減収を見込んでいるものの、重要なライフラインである水道を安定供給するため、老朽管更新や給水区域拡張、突発的な漏水に対応する施設修繕や企業債償還を着実に実行するための償還金など必要な経費の計上である。